

琉球大学病院 放射線科の西江昭弘と申します。今回、初めて編集後記の執筆を担当させていただきます。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。私は一昨年の7月に福岡県から琉球大学病院に赴任しましたが、あっという間に2年が経過し、自分でも驚くほどです。その分こちらでの生活にもだいぶ慣れてきており、沖縄の気候の良さや人の温かさを感じながら日々を過ごしています。ただコロナ禍の真っ只中でしたので、残念ながら沖縄県の魅力を満喫するまでには至っておらず、今後の楽しみとじているところです。仕事に関しても院外での活動は強く制限され、医師会の先生方との交流はございませんでした。今回、広報委員にご推薦いただきましたので、これまでの2年間を取り戻す気持ちで、沖縄県医師会の活動に携わっていきたくと考えています。放射線科については関連病院の先生方から情報をいただけるので現状を把握しているつもりですが、沖縄県全体の医療については勉強できる場が少なく、広報委員会はその良い機会と捉えていますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2023年6月の沖縄県医師会報の表紙は、北中城若松病院の涌波淳子先生が撮影された夕暮れの写真になります。現在が新型コロナ感染症との向き合い方を変えていくタイミングであることがよくイメージできる素晴らしい写真です。

常任理事の稲田隆司先生からは第224回沖縄県医師会臨時時代議員会のご報告がありました。4月からの会務運営に際する予算に加えて、これまで3年余りコロナの影響で十分に遂行できなかった「県民と共に歩む医師会」、「地域医療の更なる充実」、「魅力ある医師会づくり」の基本方針をもとに各種の事業計画がなされています。

また、理事の涌波淳子先生、沖縄県医師会女性医師部会副会長 知花なおみ先生より、第16回沖縄県医師会ドクターズフォーラム オンライン診療—はじめの一歩—に関する報告がありました。フロンティア的に第一線でオンライン診療を導入している名嘉村クリニックの状況について講演があり、その内容がわかりやすく要約されています。オンライン診療の導入には事務、とりわけSEの協力が不可欠であり、オンライン診療を行う理由、どのような診療を目指すのかなどを、施設内で議論していくことが重要とコメントされています。大学病院でのオンライン診療のあり方を考える上でも、大変勉強になりました。

さらに理事の白井和美先生から第153回日本医師会臨時時代議員会の報告がなされました。「かかりつけ

医」、「組織強化」、「医療 DX・サイバーセキュリティ」などが関心の高い検討事項となっており、これらに関する日本医師会の考え方が示されています。

それから理事の久貝忠男先生より令和5年都道府県医師会広報担当理事連絡協議会の報告がありました。世代間で広報のツールを変えることの必要性や、大阪府や広島県での広報に関する事例が紹介されており、今後の沖縄県での取り組み方を考える意味で大変参考になる記事でした。

常任理事の平安明先生からは、令和4年度における個別指導・新規指定個別指導の主な指摘事項について報告がなされました。適正な保険診療に努めるべく、診療部門と医事会計部門が注意すべき項目が詳細に記載されており、一読の必要性を感じる内容となっています。

また、生涯教育コーナーでは、おもろまちメディカルセンター循環器内科の井上卓先生より、高齢者心房細動患者に対する治療の最適化についてレクチャーがありました。高齢の心房細動患者では標準治療であるカテーテルアブレーションおよび経口抗凝固薬の投与に加えて、併存疾患およびフレイル(様々な生理学的 システムの機能低下が累積することにより、外的ストレスに対する脆弱性が高まる老年期の症候群)を考慮した治療戦略が重要であることが強調されています。個別化医療が実践されている大変良い事例だと感じました。

さらに月間行事のお知らせとして、沖縄県歯科医師会専務理事の渡慶次彰先生から「歯と口の健康週間に寄せて」が寄稿されました。デンタルフェアのご案内とともに、沖縄県の子どもの虫歯、歯周病予防の重要性について解説がありました。歯周病は全身病であることがわかる記事となっています。もう一つ、沖縄県警察本部刑事部組織犯罪対策課長の仲宗根宗信氏より、沖縄県内の違法薬物情勢について注意喚起がありました。何と若年層を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっているとのこと、想定していない内容に驚きました。医師として薬物乱用防止に関する活動には協力できるのではと感じた次第です。

以上、2023年6月の沖縄県医師会報をダイジェストでお伝えしました。いずれも本当に勉強になる内容でした。画面を通して画像に向き合っている時間が多い中、視野が大きくなった気がしています。沖縄県の地域医療に貢献すべく努力して参りますので、改めて今後ともよろしくお願い申し上げます。

広報委員 西江 昭弘